

オリエンテーリングシート

海外移住資料館は、日本人の海外移住の歴史、世界に暮らす日系人（移住した日本人とその子孫たち）の生活について展示している資料館です。ここ横浜からも多くの日本人が世界へと旅立って行きました。

次のポイントを回りながら、質問に答えよう！写真を手掛かりにポイントを探してね。
[] に数字や言葉を書き込もう。

ポイント 1

移住者の貢献（入口付近）

1920年にアメリカ合衆国オレゴン州ポートランド市で、ローズ・フェスティバルが開催されました。そのお祭りに、[] を営む日本人が、自分たちで栽培した野菜、果物などを使って作ったこの野菜山車（フロート）で参加して賞をとりました。日本人移住者の農業分野における貢献は高く評価されています。



ポイント 2

どのくらいの日本人が海外へ渡ったの？



およそ1世紀のあいだに約 [] 万人の日本人が海外へ移り住みました。

ポイント 3

海外渡航の始まり

幕末から明治元年にかけて発行されたパスポートを、当時は [] と呼びました。
1868（明治元）年、アメリカ人ヴァン・リードが神奈川（横浜）で集めた日本人約150名を維新政府の許可なしに [] へ出発させました。



ポイント 4

アリアンサ移住地



定住を意識した移住地の典型が、ブラジル、サンパウロ州西部のアリアンサ移住地です。1925年に第一次移民が入植しました。そこでは「コーヒーよりも [] を作れ」という高い理想がかかげられ、森林を伐採し、山を焼き、農業を営んで、定着に向けての努力が必死で続けられました。

ポイント 5

強制収容の経験

第二次世界大戦期は、日系人にとって大変つらい時期でした。アメリカでは、アメリカ国籍を持つ二世も「敵性外国人」として扱われました。西海岸に居住していた大勢の日系人が [] に輸送されました。



ポイント 6

敗戦国日本への支援



戦後、アメリカ大陸に暮らす移住者は、敗戦国日本へ支援をしてくださいました。それらの支援物資は、支援をしてくれた、アジア救援公認団体（Licensed Agencies for Relief in Asia）の頭文字をとり、[] 物資と呼ばれました。

ポイント 7

日本人移住者・日系人への信頼

ブラジルには、[] という意味の「ジャポネス・ガランチード」という言葉があります。長い歳月をかけて、日本人移住者が勝ち得た信頼を、私たちが大事にしていきたいものです。



ポイント 8

異なる文化を持つ人々と暮らす



この写真は、山口県からハワイへ移住したご夫婦の子孫の方々を写したものです。[] 世から6世の大家族。肌の色も、髪の色も違います。見た目や考え方が違ってもこんな風に仲良くできるといいですね！

答え：1：農業 2：76 3：御免の印章、ハワイ 4：人 5：強制収容所 6：ユウ/ラ 7：信頼できる日本人 8：3